



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心同窓会事務局
電話059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
佐脇 功

会員の皆様には、ますますご健勝
ご活躍のことと存じお慶び申し上げ



学苑近況
学苑長
田中 和麿

皆さんお変わりなく、ご活躍のこ
ととお慶び申し上げます。

中・高等学校では仮設校舎が建て
られ、北館、第二体育館が取り壊さ
れました。そして北館は五階建て校
舎、第二体育館は三階建てと新築さ
れます。六月三日にその起工式が挙
行されました。

十六年十一月から仮設校舎の工事
にとりかかり、その完成と同時に解
体工事にと、すべて順調に進捗し、無
事予定通りの起工式となったのであ
ります。来年三月には竣工の予定で
あり、四月にはピカピカの中学新入
生が新装なったピカピカの新5階建
てに入られることとなります。これ
が第一期工事であり、ついで第二期
工事として西館が取り壊され、図書

の堅実な経営により施設設備の特定
資産として貯えられ、ほとんど自己資
金によってこの大規模な改築ができ
ることはありがたいことであります。
第一期工事として、新改築される
北館は、学苑最初の鉄筋校舎として
昭和38年に建てられました。その建
築について、当時の学苑長眞弓慧光
先生が、昭和37年度発行の《樹心会
報》に「夢に描いた鉄筋建て校舎も
愈々設計ができ、近々中に施工業者
も決まってきた。既に基礎工事を始め
ていくことと思います。何分本校の主
な校舎は、明治32年に本学苑が現在
の場所に引越してきた時の建築で、

館を含む特別教室棟4階建てが十九
年三月に完成されます。第三期工事
は中館が取り壊されOA室等を含む
2棟目の特別教室棟4階建てが二十
年三月完成予定であり、これが三カ
年計画による5階建て1棟、4階建
て2棟、3階建て1棟の新改築工事
の概要であります。

ます。平素から同窓会に格別のご理
解ご支援を賜っていますことに深く
感謝いたし厚くお礼申し上げます。
学苑の近況は、学苑長先生はじめ
諸先生からご案内されています。短
期大学、中学校・高等学校の発展、
躍進の状況を承り卒業生として嬉し
く存じます。高田中・高等学校では
かねてから計画されておりました校

平成16年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収支決算書 (H16.4.1~H17.3.31)(円)

項目	金額
収入の部	
前年度繰越金	3,080,422
株式配当金(中部電力)	452,818
株式配当金(みずほホールディングス)	10,558
総会費	96,000
同窓会入会金(高校)673名×3500円	2,355,500
同窓会入会金(短大)163名×3500円	570,500
130周年記念誌代	117,630
卒業生簡手数料	17,297
購買部より補助金	100,000
預金利子	15
収入合計	6,800,740
支出の部	
総会費	165,855
役員会費	107,489
会報印刷費	1,065,019
会報発送費	1,671,851
通信費	26,835
慶弔費	46,099
卒業記念品費(高校)	252,000
卒業記念品費(短大)	66,667
同窓教職員歓送迎会補助金	100,000
短大部会補助金	11,990
功労金	300,000
事務消耗品	12,923
雑費	2,000
支出合計	3,828,728
次年度繰越金	2,972,012

財産目録 (H17.3.31現在)(円)

項目	金額
基本財産	
同窓会館建設基金	11,882,622
百五銀行定期預金	5,484,305
百五銀行定期預金	1,503,915
株券 中部電力(8,115株)	
株券 みずほホールディングス(3,915株)	
運用財産	
百五銀行普通預金	2,972,012

現在まで64年経っており、まだまだ
しつかりしておりますが、現在、中
学生のはいつている校舎は昔の寄宿
舎を改造した教室で、教室の真中に
柱があるので有名なあのオンポロ校
舎に代えるものとして、また38年度
高校生激増対策としての鉄筋コンク
リート3階建て、15教室の建築であ
ります。・・・中略・・・と書いてお

られます。この鉄筋校舎北館完成を
はじめとして、西館4階建て(44年
完成)が、45年にはオンポロ校舎が、
中館3階建て(特別教室棟)と生ま
れ変わり、続いて本館5階建て、南
館3階建て2棟など次々と建てら
れ、現在2450余名の生徒を収容
する県下有数の大規模校となってお
るのであります。

三年後にはすべての改築が完成さ
れ、新しい偉容を誇る高田学苑をま
のあたりにすることを楽しみにして
いたのだと思います。
短大、中高それぞれの詳細につい
ては、学長、校長より現況報告が、
また、中高の進路についても進路指
導部長が報告しておりますので、以
上で私の近況報告といたします。

私たち同窓生は学苑の建学の精神
である「宗教的情操を培い、人間性
豊かな社会人を育成する」と校訓
「言行忠信、表裏相応」を思いおこ
し心豊かな人間性を形成したいもの
です。現今の社会状況を思えば、今
こそ宗教観・倫理観を確立すること
を痛感します。高田学苑で学んだ私
たちには、その素養を具えていると
確信しています。日頃から自己研鑽

に励み社会に貢献できるよう願
いたします。
同窓会の目的は、何と申しても会
員相互の親睦と母校の支援にあると
思います。この目的のため組織の活
性化、整備充実、運営の効率化等を
図り、樹心同窓会の永遠の繁栄を目
指して活動を継続する所存でありま
す。どうぞ今後ともご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。ともに樹
心同窓会並びに高田学苑の一層の発
展と会員皆様方のご健勝ご多幸を祈
念して、ご挨拶といたします。

平成17年度
高田学苑樹心同窓会総会
平成17年7月31日(日) AM10:00~
追悼会 高田高校本館講堂(5F)
総会 同上
アトラクション 高田OBによる
「高田メモリアルバンド」演奏
懇親会 総会終了後本館会議室(3F)
会費2,000円、当日本館1F受付で頂きます。
お車でお越しの方は職員駐車場をご利用ください。



校高報 学況 中近 望月 演

樹心同窓会の会員の皆様には、お変わりもなく、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

今、学校では校舎の建て替え工事を行っています。北館(主に中学生が使っていた)と第2体育館を取り壊し、北館を5号館として5階建ての教室棟に、第2体育館は3階建てにと大きくなります。

昨年より運動場に仮設校舎2階建て2棟と柔道場を作り、中学1年生から4年生まで19クラスが入っております。三月より移転を始め、四月



の歩み 大なる 短新 村澤 忠司

同窓生の皆様には、ますますお元気に活躍のことと拝察申し上げます。

昨年の四月に、高田短期大学の学長の職を拝命賜り、一年を大過なく過ごさせて頂きましたことを心からお礼申し上げます。

三月十六日には、法主猥下を始め多くのご来賓のご臨席のもと、厳粛の中に卒業証書授与式を挙行できましたことを心より感謝を申し上げます。

本年も、二百十六名の卒業生を社会に送り出すことができました。高田短期大学は地域の高等教育機関として認知され、また、地域住民の息

から取り壊しにかり五月末にはすべて更地になり、六月三日には起工式を済ませました。新しい体育館には文化系の部室も出来、5号館の教室にはロッカーも設置されるなど、長年の夢が叶えられる建物です。

さて、4月に中学生209名、高校生396名、4年編入生12名が入学して来ました。これにより、中学生598名、高校生1803名で合計2401名の三重県下一のマンモス校になり、大変に誇らしく思いますが共に責任の重大さを感じております。

今春の卒業生(673名)の進路状況は、国立大学153名、私立大学906名、文部省所管外2名、短期大学85名、その他専門学校など94名でした。

今年も医学関係への進学希望者が

子・子女の教育、生涯学習の場としての期待の大きさと、その責任の重さを実感しております。地域に根ざし、地域の住民に受け入れられる短期大学として発展してきました道程には、言行忠信・表裏相応を校訓とした学校法人高田学苑の一角をしめる教育機関として、樹心同窓会長佐脇 功先生、高田学苑長田中和磨先生らの日頃のご指導と、各分野で活躍されている同窓会会員諸氏のご支援の多くの積み重ねのおかげだと思っております。

幼児教育学科とオフィス情報学科の二学科の三月の卒業生の就職状況は、社会の世相を反映して、偏った分野への就職が目立っています。特に、男女共同参画社会の動きに合わせますように、保育所、幼稚園や医療福祉への希望者が多く、また、就職先もこれらの分野に多く就いています。幼児教育学科では、三月の末日を待たずに、卒業式の時点で百八

多く、国立大学合格者の中で医学部合格者が、数ある学部の中でトップの29名でした。私立大学の医学部合格者を合わせると43名になりました。さらに、歯学部3名、薬学部10名と医学関係は人気上昇中です。

個々の生徒の活動面では、今年も数学オリンピックで日本代表6名に片岡俊基(4d)が入り、メキシコ大会に出場し金メダルを目ざしています。また、TVチャンピオン「うつくしい日本語王選手権」に中尾友美(4d)が全国優勝し6月にその様子が放映されます。

他に運動部でも大活躍が続いております。5月に行われました三重県総合体育大会に於いては、団体(学校対抗戦)では、新体操部・なぎなた部がそれぞれ優勝して千葉県での全国大

1セントが決まりました。特に、三重県下の多くの保育所の保育士として活躍する卒業生がその大部分を占めています。また、オフィス情報学科では、今年の卒業生の特徴として、中国からの留学生が二十二人を数え、その多くは、本学を卒業後、さらに、日本国内の四年制の大学に編入学していく学生が大部分でした。

日本人の卒業生は、主として、医療福祉関係の企業や医療機関に医療事務管理士として就職する学生が目立ちます。コンピュータが得意、文章が書け、対人とのコミュニケーションができる基礎を重視した教育を行っている成果が出てきたのかと自問自答しております。全体で九八パーセントの就職率の状況です。さて、四月に入り、二百十二名の新しい学生を迎え入れました。保育の高田・高田の保育とまで言われますように、多くの保育士志望の学生が集まってきました。この地域の人々の期

会に出場します。剣道部は、男子・女子共に3位で東海大会に、卓球部男子も4位で同じく三重県代表として出場します。馬術部は東海大会で団体準優勝で第39回全日本高校馬術大会に出場決定、また、この大会で個人3位に入賞の橋本孝幸(6e)は、第16回全日本高校選手権への出場を決めてきました。このように個人競技でも全国高校総体に次の6名が出場します。

新家雄貴(1・新体操・優勝) 吉田奈美(6b・なぎなた・優勝) 塚本明子(5b・なぎなた・2位) 矢田琢郎(5b・ボクシングライトフライ級・優勝)、秋田美都(1フェンシング・フルール・優勝)、長尾亜紀(3・卓球女子・3位)らが全国大会へ。

待や幼児教育機関の信頼を裏切ることなく、これからも、優秀な、期待に添った学生を社会に送り出していくように努めなければならないと思っています。また、昨年の特筆すべきこととして、高田短期大学の地域への貢献をさらに進めるために、昨春秋には、本学内に付属の育児文化研究センターを開設しました。地域はもとより、三重県下の保育所・幼稚園に開放・連携して、幼児の保育の分野で地域の若い父・母の子育てや乳幼児の育児、幼児文化の育成への協力体制を整備致しました。本年度も、多くの行事を計画して、地域の皆さんのご参加をお待ちしています。ご関心をお持ち頂ける方々には、是非一度、育児文化研究センターをご訪問頂ければ幸いです。

さらに、平成十八年度には、地域の人々や受験生の多様な要望に応えるべく新たな本学の改革を進めていきます。幼児教育学科を、子ども学

東海大会へは、なぎなた・演技の部で3位・吉田奈美(6b)、小津万寿美(6c)組、4位・米川純代(6b) 塚本明子(5b) 組らが出場

中学生では、ソフトテニス部の活動がめざましく津安芸大会、団体優勝、津市大会も優勝し、荒木田孝輔(3c)、吉田篤史(3c)を中心に頑張っております。剣道部も春季大会で団体3位、川上宗馬(3d)は最優秀賞を獲得しました。

また、毎年中学生の9割の生徒が文化部が運動部のどちらかに入っており、楽しく活動しております。以上のように生徒らは文武両面にわたって元気に明るく活動していることを申し上げて近況報告とさせていただきます。

科と名称を変更して、学科内に幼児教育コースと子ども福祉コースを置き、なお一層多面的な保育者養成の教育ができるように整備拡充致します。また、オフィス情報学科は内容を地域の中小企業のニーズに合わせて、より実務教育に徹したカリキュラム内容を整えて現代化を図っております。さらに、新しい学科として、高齢化社会を念頭に置いた社会的弱者へのお手伝いを模索する「人間福祉学科」(介護福祉コース)の設置を準備しております。女子の四大志向や就職難等の厳しい環境下ではありますが、高田短期大学は地域の方々へのきめ細かい対応に徹し、地域の人々に愛される高田学苑の発展のお役に立てますように努めていきたいと思っております。これからも、樹心会の皆様方のご指導ご助言を賜りますように心からお願い申し上げます。報告と致します。

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

中・高等学校

- 一、星合 広樹
 - 二、理科
 - 三、柔道・応援団
 - 四、スキー・ドライブ等
 - 五、本年度四月より母校である本学苑で教鞭を執らせて頂くことになり、大変嬉しく感謝いたしております。
- 新たな教育現場で慣れない事も多く、多くの先生方のご教授を賜りながら、生徒とともに日々勉強の毎日を送っています。
- 「初心忘るべからず」「日々精進」をモットーとして今後も教育者として頑張りたいと思っております。どうぞよろしく願っています。

身の引き締まることであり、同時に毎日が反省と感謝の内に心洗われ、私自身が成長させていただいているような思いがいたします。

平成十三年秋より中国大連市に一年半程滞在しました。またアメリカカソサセルス近郊の幼稚園に行き、アシスタントティーチャーとして現地の様々な人種の子どもたちと多く触れ合う機会を得ました。その時の経験を活かし、英語だけでなく、「言語」を学ぶことの楽しさ、厳しさ、難しさを生徒の皆さんに伝えるとともに活気あふれる授業を展開していきたいと試行錯誤の毎日です。

現在は日々バスケットボール部顧問として生徒達に混じって汗を流しております。

21世紀を担う子どもたちの中学、高校という貴重な期間を共に過ごせることは私にとってこの上ない喜びであると共に責任の重さを痛感しています。

本学苑から生徒の皆さんが立派に巣立ってくれる様、教師としてまだまだ至りませんが、日々努力精進していきたいと思っております。何卒御指導宜しく願っています。

- 一、川口裕美子
 - 二、英語
 - 三、中学バスケットボール部
 - 四、バスケットボール
 - 音楽、映画、絵画鑑賞
 - 英会話、中国語会話
- 本年度から伝統ある本学苑でお世話になることができ大変嬉しく思っております。特に仏教理念に基づく教育方針の中で教師として教壇に立つということはより一層

- 一、丹羽正樹
 - 二、数学
 - 三、中学ソフトテニス部
 - 四、テニス、音楽、映画鑑賞
 - 五、六年制編入2期生として本学苑で3年間お世話になりました。本年度から学苑で教鞭を執らせて頂くこととなり、何もかもが懐しく、

それでいて、生徒の立場からは見えなかつた先生方の苦勞を目的の当たりし、新鮮な毎日を送っております。今は数学を教えること、それから、ソフトテニスの指導、と言うよりは、生徒と共に楽しむことで精一杯ですが、授業や部活を通して、様々な事を生徒に伝えていけたらと思っております。生徒の為には努力を惜しまない、そんな教師を目指して精一杯頑張りますので、この未熟者のご指導の程、何卒宜しく願います。

- 一、杉井 道宏
 - 二、保健体育
 - 三、高校男子バレーボール部
 - 四、バレーボール、釣り、野球観戦
 - 五、本年度から伝統ある高田学苑でお世話になることができ、大変感謝しております。

この御恩返しが出来ますよう、精一杯努力し、体育の授業や部活動を通じて、「生きる力」を身につけてもらえるよう、誠心誠意頑張りたいと思っております。

今後とも御指導の程宜しくお願い致します。

- 一、乙部公伸
 - 二、保健体育
 - 三、陸上競技部(高校)
 - 四、蕎麦打ち
 - 五、本年度から伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく、感謝致しております。
- 保健体育の教員として、教科指導だけでなく、部活動や生徒指導など学校生活全般において生徒に関わり、自分のできる精一杯で常に生徒と向きあつていきたいと思っております。

短大

何分未熟者であります。今後共、御指導の程よろしく願っています。

- 一、平田 祐子
 - 二、コミュニケーション関連科目(国語表現、文書作成、英会話など)
 - 四、特技：箏曲、三弦、茶道、華道
 - 趣味：ゴルフ、スキー、馬術
 - 五、この四月よりオフィス情報学科でコミュニケーション関連科目を担当しております。

夫も高田学苑六年制(五六年)の卒業生でして、伝統ある高田学苑を身近に感じておりましたが、今春より短大に着任させていただきましたことを心より感謝いたしております。

人と人を繋いでいるのはコミュニケーションです。良きコミュニケーションのあり方やスキルの向上等を学生に指導していく所存でございます。何卒、よろしく願います。

- 一、手嶋 慎介
 - 二、ビジネススマネジメント、ビジネス実務演習、基礎演習、キャリアガイダンス、社会体験学習、社会体験実習、基礎ゼミナール、プレゼンテーション
 - 三、球技部
 - 四、お笑い
 - 五、今年四月から伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝いたしております。
- 少人数・習熟度別且つ実践的な教育を行うオフィス情報学科の一員として教育研究活動に誠心誠意

全力を尽くして参ります。

本年度は「キャリアプランニング支援に関する経営学的研究」を研究課題としています。

ご指導の程宜しく願っています。

- 一、織田紀代子
 - 二、社会福祉援助技術、実習指導
 - 四、音楽鑑賞、旅行、読書
 - 五、ユマニテック福祉専門学校から緑多い自然環境抜群の高田短期大学に四月から着任させていただきました。歴史ある本学の一人に加えていただき、光栄です。

平成十八年四月から、「人間福祉学科」が新設されます。少子高齢化の時代、「福祉の心」を学び高齢者、障害者の援助をしたいと希望する学生も多くいます。

今年一年は幼児教育学科で右記教科を担当させていただきますが来年からは二ーズに合った、プロの介護福祉士を養成する事に、介護現場二十二年の学びを直伝していきたいと思っております。今後ともよろしく願っています。

- 一、内藤由佳子
 - 二、保育内容研究、保育内容言葉表現指導法、教育保育実習研究
 - 四、茶道(裏千家)、ドイツ語、オペラ鑑賞
 - 五、この春、高田短期大学幼児教育学科に講師として着任いたしました。豊かな自然に囲まれ、伝統のある本学苑でお世話になることとなり、大変嬉しく存じます。
- 私はこれまでドイツ新教育を対象に、子ども主体の学習と教師の指導性に関する研究を進めてまい

今春学苑を退職された方々

- 公代 美登子 弥恒 一樹 敦子 翁佳子
森松 本中 田富 岡浜 辺藤 喜添 今井 鈴木
大 聡子 隆重 記助 道夫 照京子
(短大) 駒田 伊藤 福岡 中瀬 啓河 崎井 野井 あかね 山野 系川

りました。担当科目では、これらの研究をこぼや対話に焦点を当てて具体化する同時に、学生との双方向的なコミュニケーションが取れる授業を展開できるよう努めたいと思います。今後ともご指導よろしくお願致します。

進路指導

進路指導部

平成十六年度生(平成十七年三月卒業)は三年制 類が二八七名、類が一九二名、そして六年制が一九四名、計六七三名でした。平成十七年度入試の合格結果を、既卒生も加えてご報告いたします。

〔六年制コース〕

()内は人数、()なしは一名

- 国立大学
東京大(6)・京都大(8)・大阪大(7)・名古屋大(14)・三重大(22)・福井大(4)・広島大(3)・岡山(3)・名古屋工業大(3)・静岡大(3)・一橋大・お茶の水女子大(2)・金沢大(2)・神戸大(2)・徳島大(2)・北海道大・筑波大・東京医科歯科大・東京外国語大・東京工業大・横浜国立大・千葉大・山梨大・富山医科薬科大・信州大・滋賀大・大阪外国語大・大阪教育大・鳥根大公立大学
名古屋市立大(6)・首都大学東京大(2)・京都府立大(2)・大阪府立大(2)・札幌医科大学・岐阜薬科大・大阪市立大・神戸市外国語大
文部科学省所管外
防衛大学校
私立大学
早稲田大(37)・慶応義塾大(31)・東京理科大(18)・中央大(12)・上智大(10)・青山学院大(7)・明治大(7)・専修大(5)・立教大(5)・日本大(5)・国際基督教大(3)・駒澤大(3)・東京女子大(2)・日本歯科大(2)・法政大(2)・北海道医療大・独協大・学習院大・芝浦工業大・昭和薬科大・成城大・東京慈恵会医科大・星薬科大・明治学院大・麻布大・聖マリアンナ医科大・南山大(13)・名城大(13)・藤田保健衛生大(10)・日本福祉大(5)・鈴鹿医療科学大

〔三年制コース〕

- 国立大学
三重大(5)・一橋大・新潟大・大阪大・奈良女子大・名古屋市立大・慶応義塾大(3)・専修大・中央大・東京理科大(3)・鶴見大・南山大(4)・名城大(2)・京都薬科大・同志社大(6)・立命館大(2)・大阪芸術大・大阪薬科大・関西大・近畿大・関西学院大(2)・神戸学院大
私立大学
三重大(13)・群馬大・埼玉大・静岡大・名古屋大・名古屋工業大・岐阜大・香川大
公立大学
三重県立看護大(3)・横浜市立大・愛知県立大・愛知県立芸大・大阪市立大・兵庫県立大
私立大学
日本大(8)・東海大(7)・明治学院大(4)・創価大(3)・千葉工業大(2)・国際医療福祉大・関東学園大・日本薬科大・工学院大・東京理科大・國學院大

- 大・国士館大・駒澤大・大正大・拓殖大・中央大・帝京大・東京工業大・東京電機大・神奈川工科大・フエリス女学院大・名城大(31)・中部大(23)・中央大(21)・金城学院大(16)・南山大(12)・愛知大(11)・大同工大(11)・愛知学院大(10)・愛知工大(8)・愛知淑徳大(8)・名古屋商科大(8)・名古屋外大(7)・名古屋女子大(7)・日本福祉大(7)・椋山女学院大(5)・静岡理工科大(4)・名古屋学芸大(4)・名古屋学院大(4)・名古屋文理大(4)・金沢工大(3)・北陸大(3)・名古屋経済大(3)・東海学園大(3)・朝日大(2)・星城大(2)・愛知医科大(2)・藤田保健衛生大(2)・日本赤十字豊田看護大(2)・新潟薬科大・岐阜女子大・岐阜聖徳学園大・常葉学園大・愛知みずほ大・愛知工科大学大・皇学館大(55)・鈴鹿医療科学大(23)・四日市大(7)・三重中央大(3)・鈴鹿国際大(2)・立命館大(19)・近畿大(17)・京都産業大(16)・龍谷大(12)・関西大(6)・関西外大(6)・大阪経済大(5)・関西学院大(5)・甲南大(5)・京都学園大(4)・同志社大(4)・大阪工大(4)・大谷大(3)・大阪国際大(3)・大阪産業大(3)・神戸学院大(3)・奈良大(3)・京都外大(2)・佛教大(2)・京都文教大(2)・大阪学院大(2)・大阪経済法科大(2)・追手門学院大(2)・岡山理科大(2)・京都精華大・京都創成大・京都造形芸大・京都薬科大・京都光華女子大・京都橘大・同志社女子大・花園大・明治鍼灸大・藍野大・大阪青山大・大阪樟蔭女子大・大阪明浄大・大阪薬科大・摂南大・相愛大・平安女学院大・桃山学院大・芦屋大・関西福祉科学大・大手前大・日本赤十字・広島看護大・広島国際大・徳島文理大・四国学院大・松山大・立命館アジア太平洋大
短大

Table with 2 columns: Name and Graduation Year/Institution. Includes names like 牛尾 篤之, 中山 大海, 海林 耀, etc.

高田短大(39)・三重短大(11)等、計19校(83)名
専門学校
三重中央看護専門学校(5)・ユマニテク医療(5)・三重看護(6)等、計48校(91)名
就職
就職
8社、計12名
以上のような結果でした。今回、会報50号ということで、四年制大学結果を総て記してみました。三年制コースと六年制コース全体を見てみますと、生徒ひとりひとりの努力の結果が、巨大な山のようです。それも色とりどりに色づいた秋の山のようで、実に素晴らしい。この状況が今後も続くことを願っています。

中・高部活動

中学野球部

野球部は、部員は五十人程で、伊藤先生を中心とした三人の顧問の先生とともに活動しています。顧問の先生方には熱心な指導をしていただいております。お仕事が忙しい中でも、休日にはよく練習試合にも連れられていただいております。また、練習の時も試合の時も確かなアドバイスをして下さり、時々厳しい一面もありますが、僕達にとっても頼りになる存在です。また、生徒の父兄の方のいろいろな御協力のおかげで大変助かっております。

今年からは、校舎の改築の都合により、グラウンドに仮設校舎が建てられ、例年より練習場所が狭くなつてしまいましたが、多くの練習が必要な高校野球と互いに協力しあい、限られた練習場所でも有効に使って練習に取り組んでいます。

今年、二年生の技術力が高く、4～5人がレギュラーとして試合に出ている為、来年に期待をもちます。そして、四月から例年の様に二十人近い一年生が入部し、先に述べた様に、グラウンドの都合でもあまり練習を与えることは出来ませんが、未来の野球部の事を考え、出来る限り練習を与えています。

今年、伊藤先生の采配にチームが上手く機能することができず、公式戦では入賞できていません。しかし、最後の夏の大会では、今までの先生の指導や父兄の方々の協力に励まされる様な結果を残せるように練習に励んでいきます。

中学剣道部

現在、武道場の立て替え工事に伴いまして練習場所を三重武道館に移し活動しています。男子は、昨年度まで、4年連続で東海大会に出場しています。女子はようやく結果につながってきたところと見えます。勿論今年のチームも東海大会、それ以上の結果を残せるように日々努力しています。大会や練成会などに参加していても、今まで高田中学校に對して他校が持つていた、『ガリ勉君』のイメージが一新され、部活動においての公立中学校と私立中学校という壁が取り除かれたように感じています。今年のチームは山あり谷ありのチームです。言い換えれば波のあるチームといえるでしょう。県秋季大会、先輩達が残してくれたシード権をあっさり失い、ゼロからのスタートとなりました。一月の県新人戦。主将を中心にあきらめずやってきたことが結果となり、3位に入賞することが出来ました。4月の県鳳凰期大会。代表戦までもつれ込んだ試合は結局相手校に軍配が上がり、シード権は残ったものの一つ順位を落とすこととなりました。このように常に安定しない危なっかしいチームではありますが、自分たちの力がすべて発揮できるように支えていきたいと思います。彼らの純粋で前向きな姿に支えられながら夏の大会に向けてラストスパートを

かけたかと思っております。中学生の三年間というのは、体格的にも精神的にもめまぐるしく成長していく大切な時期でもあります。その大切な時期に剣道を通して出会った縁に感謝し、少しでも沢山関わって、共に成長したいと思っております。

中学なぎなた部

【第12回全国中学生大会】
於平成十六年七月二十五日 静岡 岡県武道館
個人
敢闘賞 塩崎 由貴

【平成16年度全国少年武道錬成大会】

於平成十六年八月八日 日本武道館
中2個人
ベスト8 服部有希子

1年生4名・2年生、3年生各6名で活動しています。高校生と一緒に稽古をつんでいるおかげで、大きな大会でもものおしせず、力を出せているようです。近年、県内に全国優秀レベルの男子中学生が複数おり、県内大会では苦戦していますが、彼らに負けぬように努力した結果が全国大会での好成績の一因になっていると思われまます。楽しく、そして何事も一つ一つ学びとる姿勢で稽古にのぞみ、結果、勝利することができればよいと考えています。

中学ソフトテニス部

晴れた日の放課後に東門に立つと本コートの方からテニスクラケットのボールにミートするパン、パンという音が響いて来ます。近づいていくと高校生の隣で中学生も練習に励む姿が見えます。

毎年20名前後の1年生が入部してきます。登録部員数は3学年合わせて70名程になりますが、高校・中学男女で4面をローテーションで使用しており、多くの部員で一面を有効利用してよく毎日練習を重ねています。戦績は平成5年頃から津安芸地区の大会では(男子は9校の争いですが)団体戦や個人戦において常に上位に入賞しています。他校の、より恵まれた環境で練習しているチームを相手によく善戦しており、感心させられています。また休日には広くコートを使えるので練習をよく入っており、桑原や鈴鹿・伊勢などの他地区の親善試合や練習試合に遠征もしています。

団体戦
優勝
夏の大会も上位を目指し練習しています。
ソフトテニス部OBの諸君、また一度コートを訪ねてやって下さい。

中学卓球部

昨年のアテネオリンピックで福原愛選手の活躍が大々的に報道されるなど、このところ卓球が世間の話題に上ることが多くなってきました。その影響か中学卓球部も入部希望者が増え、現在男子六十一名(三年生十三名、二年生二十二名、一年生二十六名)、女子二十三名(三年生十名、二年生七名、一年生六名)の、総勢八十三名の大所帯となりました。卓球台が七台しかないため、一年生はなかなか台について打てず、ランニングと筋トレの毎日になっています。

【春季津支部大会・津安芸総体】

団体戦
優勝
個人戦
ベスト8 出口・真弓組

【平成16年度 秋季津市民戦】

団体戦
優勝・三位

【平成15年度 秋季津市民戦】

団体戦
準優勝

【平成14年度 夏季津安芸総体】

個人戦
優勝 室木・種村組

【平成14年度 秋季津市民戦】

団体戦
準優勝

【平成13年度 春季・夏季津安芸総体】

今年、男女とも卓球大好きな生徒が多く、お互いに切磋琢磨しながら練習に取り組んでおり、チームの状況はここ数年で一番よくなっています。大会や練習試合などで今までは歯が立たなかった学校の選手に勝つたり競ったり出来るようになり、その中で最後の一本を取るための精神力(集中力・状況判断力など)の大切さが徐々に分かってくるようになってきました。このことは、卓球だけでなく、今後の生徒達の人生においていい経験になっていくことと思っています。

また、二年生の高藤江美子は入学以来、津卓球選手権大会や市民大会などの個人戦での優勝や、中部日本卓球選手権大会・東海卓球選手権大会に県代表として出場など、卓越し

た卓球センスを遺憾なく発揮しており、今後の活躍が期待されます。

中学サッカー部

いよいよ僕たちも中学三年生になり、新入部員も入り、三年間の締めくくりの時期となりました。そして今、最後の大会に向け、練習に明け暮れる日々を送っています。

去年を振り返ると、夏の中体連は三位でした。先輩達と一緒に練習した成果を十分に発揮することができました。欲を言えば、決勝戦まで行き、県大会出場といきたかったのですが、精一杯やり切ったので後悔はありませんでした。

先輩が抜け、新たなチームとして初めての公式戦「コカ・コーラ杯」が人を出しながらも、僕は最初の目標である予選突破を果たしました。しかし、本選では初戦であえなく敗れてしまいました。あれだけみんなで練習したのになんか思いだけが残りまして。もっと上を目指していたので、本当に悔しかったです。この悔しさが、チームのまとまりを一層強くし、厳しい練習を続けられる元となっています。常に向上心を持つことが大切だと悟りました。

三年生の春の中体連は初戦敗退。悔しさはありましたが、前向きに受け止められました。敗因はどこにあるのかを確認し、夏の中体連に向けて、練習する他ありません。

良き指導者、頼もしい先輩に恵まれ、喜びも悔しさも共に味わい、切磋琢磨する仲間がいます。有意義な時間を過ごしてきたと思います。練習に励み、自信をつけ、三年間の締めくくりとして、後悔しないように

全力を出し切り、記憶に残る試合をしたいと思います。

3年a組 中尾 明遠

中学陸上部

中学陸上部は、現在三年生十四名(男8女6)二年生十九名(男9女10)一年生十八名(男5女13)、計五十一名で活動しています。

「走る・跳ぶ・投げる」という、いわば誰にでもできる運動を記録という形で人と競う競技ですが、まずは「自分のスタートラインからどれだけ伸びたか」を重視した方針で、仲間とともに「楽しく・しんどく」をモットーに、日々トレーニングを行っています。地図でいえば、現在地と目的地は個々によって違いますが、「全国大会出場」から「まずは自己ベスト更新」まで、色々な部員がいますが、練習する時は声をかけあい高めあっています。

【全日本通信陸上三重大会】

二年男子1500M
第5位 小林秀爾(東海大会出場)

【津安芸中学陸上】

- 男子総合
- 第3位 男子800Mリレー
- 第3位 山本・坪田・八村・河村
- 男子低学年400Mリレー
- 優勝 岡田・丹羽・森元・嶋田
- 男子800M
- 第4位 小林秀爾
- 第5位 小林亮太
- 男子走高跳
- 優勝 河村太貴
- 男子円盤投

第2位 河村太貴
女子100M

第3位 竹内裕理
女子200M

第4位 竹内裕理
以上 県大会出場

2男1500M
第3位 坂倉啓太
1女100M
第3位 高津理恵子

【津安芸駅伝】

- 男子
- 第4位
- 女子
- 第6位

高校硬式野球部

現在三年生十八名、二年生十三名、一年生九名、マネージャー三名、計四十三名で活動しています。平日は毎日短いながら充実した練習をし、休日は主に練習試合を積み重ねています。昨年の夏の大会では二回戦三回戦共にコールドで勝利し、ベスト8をかけた試合ではあと一歩及ばず、惜しくも敗退しましたが、その健闘ぶりが評価され、熱闘賞をいただきました。しかし、この結果に満足することなく、その時の反省を生かし、三年生にとって最後となる夏の大会で悔いの残らないプレーをしたいと思っています。そのためには怪我や体調管理にも注意し、一球一球攻める姿勢を忘れずにいきたいと思っています。そして、自分達の悪いところを仲間同士で指摘し合い、良いライバル意識を持つことで、お互いを高め合っています。また、試合に勝つことだけを目標とするのではなく、野球を通して、色々な障害を乗り

り越えられる強さ、礼儀作法、協力することの大切さなどを身につけたと思っています。最後に私達が好きな野球を続けていられるのは、先生方をはじめとし、応援してくれる友人、家族の支えがあつてこそだと思います。その感謝の気持ちを忘れず、これからも練習にはげんでいきます。

高校卓球部

高校男女卓球部は男子部員二十九名、女子部員十三名で、全国総体・東海総体出場を目指して毎日、練習に励んでいます。

高校ソフトテニス部

僕は、部活動を通じてたくさんの

人々と出会い、その方々にテニスの技術だけではなく、テニスの楽しさ、厳しさ、努力することの大切さなど本当に多くのことを教えていただきました。その中で僕たちは、多くの社会で必要となることを教わりました。それは、みんなで部活動を行っていくという集団行動、先生や先輩に対する態度、その時の言葉使いなどです。こういうことは、社会に出て大切なことだと思います。

高校陸上部

本年度より校舎新築工事のため練習場所を身障者センターに移し毎日

僕は、ソフトテニス部に入り、本当にいい経験をさせてもらいました。こんな人達に囲まれてテニスを出来るということは、これから先の人生ではないと思います。練習が嫌になった日も、先生に怒られた日もありました。でも、今では全ていい思い出です。僕は、大会で良い成績を収めることは出来ませんでした。しかし、僕はソフトテニス部で本当の意味で強くなり、勝つことよりも大切なことをたくさん教えてもらいました。本当に最高の三年間の部活動でした。

ソフトテニス部部长 岡田 智貴

ソフトテニス部部长 岡田 智貴

ソフトテニス部部长 岡田 智貴

ソフトテニス部部长 岡田 智貴

熱心に練習しています。

中長距離専門の乙部公伸先生を顧問に迎え、総勢五〇名以上部員達は日々充実した敵しく、楽しい練習に励んでいます。また陸上競技だけでなく学業の方も疎かにならないよう短時間に集中した練習を心懸けています。

五月七・八日に開催された春季大会では、年生の番翔子さんが円盤投げで二位入賞、二七日、二九日に開催された県総体では同じく番さんが円盤投げ八位、五年生の瀬川君が400MHで七位に入賞しました。夏期休暇中は海浜公園内陸上競技場にて練習を行い、秋の新人大会で東海大会への出場を目指します。

【平成一六年度 県総体】

- 400MH 四位(東海出場)久保田洋史
- 4x400M 五位(東海出場)杉谷・筒井・鈴木・久保田

【平成一六年度 新人大会】

- 400M 八位 久住孝大
- 400MH 七位 瀬川剛史
- 八位 久住孝大
- 円盤投げ 二位(東海出場)番翔子

【県三十傑掲載分】

- 400M 杉谷 筒井 久保田 久住 鈴木
- 800M 木
- 筒井
- 400MH 久保田 瀬川 久住
- 4x400M

杉谷・筒井・鈴木・久住・久保田

- 400M・400MH
- 菅瀬
- 800M・1500M
- 後藤
- 砲丸・円盤投げ
- 番

高校馬術部

夏を感じさせる日差しの中、馬術部にとって一番の目標である全国大会出場をかけた東海予選が、6月5日(日)愛知県森林公園で行われました。

昨年の全国大会出場メンバーである柳、橋本(6年生)に加え、今年入学した梅田(1年生)を入れた3名が出場権獲得に挑みました。毎年予想もできない激戦が繰り広げられる中、主将の重責の中、力を出し切った柳、1年生ながら経験者である梅田、共に満点でゴールし周囲の期待に答え各自の役割を果たしてくれました。この時点で他校とほとんど差はなく、3番手の橋本がミスなく満点でゴールすれば全国大会の出場権は確実となります。応援に来てくれたOBの不安の眼差しの中、橋本はこれまでの練習の成果を遺憾無く発揮し満点でゴール、その瞬間選手はもろろん顧問、コーチ皆に喜びの笑みがこぼれました。昨年はベスト12位と今一步のところで準決勝進出を逃しました。今年はそれ以上をめざし更なるレベルアップに努めたいと思います。また、個人戦の予選には柳、橋本が出場しました。個人戦には団体戦以上に、経験者が多く出場し、大変厳しいものと予想されまし

た。初出場の柳は健闘むなしく一次予選敗退となりました。橋本は昨年の雪辱を晴らすべく一次、二次予選を突破し決勝まで駒を進め、こころで来れば優勝を期待しましたが、決勝に残った4名のうち2名は昨年の全国大会において準優勝と4位になっており、本年全国大会シード選手であり2人の実力はすばらしく、やはり実力で今一步及ばず橋本は3位となりました。しかしながら団体戦と併に個人戦でも全国大会出場を果たしたことは自信につながり更なる向上に顧問としても期待し指導にあたりたいと思います。最後に、7月下旬の全国大会に向け残り少ない時間を全部員一丸となり、同窓会総会時には、会員の皆様によい報告ができることをお約束したいと思います。(顧問 記)

高校バレーボール部

私達男女バレーボール部は、引退までの残り少ない時間を大切にしていきます。そして、毎日第一体育館で、一つ一つのプレイに集中しています。女子は、井ノ口先生と尾市先生のもとで、三年生の選手が六人、二年生が二人、一年生が八人で、三年生のマネージャーが二人と一年生が一人居います。私達の目標は県一位になる事です。そのために、皆で試合に近い雰囲気を作り、毎日厳しい練習をしています。そして、尾市先生により実戦に近い難しいボールを出してもらい、レシーブをしています。これらを通して、スパイクレシーブなどを拾い負けない粘り強さや闘争心が高まってきました。この雰囲気

高校剣道部

現在、武道場の立て替え工事に伴いまして練習場所を三重武道館に移し活動しています。新入生を迎え男女で38名の大所帯となりました。中学生も一緒に練習しているため、道場内の人口密度が非常に高く、一人でもボサツとしていると練習がスムーズに進まないだけでなく、大きな怪我につながるおそれがあるため、一人ひとりが集中して稽古に取り組んでいます。昨年度男子が全国選抜大会に団体戦で初出場するといふ快挙を成し遂げたことは今年のチームにとって誇りである反面様々な面でプレッシャーとなってきました。特に男子は一月の新人戦であっ

高校水泳部

水泳部は現在、6月6日からプールを使用する為に、更衣室の清掃や草ぬきなどをおこなっている。又、6月4日には、水泳部の大きなイベントともいえるプール清掃を行う。昨年度の大会では、4名の部員が東海総合体育大会への出場を果たすなど、素晴らしい活躍であった。特に若浪和希選手は、1年生ながら、東海大会で優勝し、島根でおこなわれたインターハイに出場する快挙を達成した。

いき、悔いの残らないように精一杯頑張ります。男子は、監督の松本先生、今年赴任されたコーチの杉井先生のもとで、三年生が五人、二年生が四人、一年生が六人、二年生のマネージャーが一人で文武両道で頑張っています。毎週水曜日には、津トップスイミングにおいて、ウエイト・トレーニングや水泳などをして、筋力アップと持久力を計っています。日々の練習においても、先生方の熱い指導のもと、部員が皆一丸となつて、励んでいます。現在、三年生最後の県総体に向けて、最後のまとめの練習をしています。経験の少ない自分達ですが、最後まで諦めず頑張っています。そして、それぞれの先生方から教えていただいた人に対する感謝の気持ちを忘れず学校生活を含め、これからの自分達の将来に活かして頑張っていこうと思います。

さりシード権を落としてしまい、冬から春にかけて非常に苦しい時期を過ごしました。春季大会では男女ともに三位に入賞し、インターハイ予選につなげることが出来ました。インターハイ予選。インターハイを目標に、限られた時間・環境の中で出来る限りのことを精一杯やってきました。スランプやプレッシャー、怪我からも逃げることなく乗り越えてきました。結果は、男女ともに惜しくも三位でインターハイへの道は閉ざされました。(個人戦:6e安藝友宏・C内山明大ベスト8)しかし、団体戦・個人戦とも東海大会への出場権を得ることが出来たので、気持ちを切り替え、プライドのある試合が出来るよう最後まで勝ちにこだわって頑張りたいと思っています。最後にになりましたが、平素よりご指導ご鞭撻、そしてあたたかく見守りご声援下さいました先輩方に部員一同感謝しております。

水泳部は現在、6月6日からプールを使用する為に、更衣室の清掃や草ぬきなどをおこなっている。又、6月4日には、水泳部の大きなイベントともいえるプール清掃を行う。昨年度の大会では、4名の部員が東海総合体育大会への出場を果たすなど、素晴らしい活躍であった。特に若浪和希選手は、1年生ながら、東海大会で優勝し、島根でおこなわれたインターハイに出場する快挙を達成した。

トレーニングをおこなうことになり。部員達はその期間にも、毎日練習に参加し積極的に活動している。キャプテンを中心にトレーニングメニューを自主的に作成し、地道な練習を楽しくおこなっている。部員達はボールを使用できないこの時期にこそ、自分達で練習を工夫したりすることを通じて、人間的に大きく成長している気がする。本年度も、いわゆる冬の時期をのりこえた2、3年生を中心に、自主的かつ積極的な練習を行い、規則を守ることや礼儀なども身につけてきており、彼らの成長に感心することも多々ある。今後も部活動が、生徒達が大人に成長するための大切な時間になっていくことを期待している。

高校なぎなた部

【第51回東海高校総体】

於平成十六年六月二十日 養老町総合体育館

個人

四位 吉田奈未

団体 三位

【第43回全国高校総体】

於平成十六年八月一日～四日

斐川町立第1体育館

演技 米川紘代・長野里香組

個人 吉田奈未 出場

【第38回東日本高校選手権大会】

於平成十六年十一月十四日 弥富町総合体育館

団体

準優勝(米川紘代・小津万朱 美・吉田奈未)

【第55回三重県高校総体】

於平成十七年五月二十二日 高田高校

個人

一位 吉田奈未

二位 塚本明子

演技 塚本明子・米川紘代

三位 塚本明子・米川紘代

四位 小津万朱美・吉田奈未

団体

優勝

・東海総体に個人5名・演技2組

団体が出場権獲得

・全国総体に個人2名・団体が出場権獲得

昨年度、京都大会以来久々のインターハイ出場をはたしました。惜しくも決勝トーナメント(ベスト16)にはあと一步の所で進出できませんでした。貴重な経験をつむことができました。又、秋の国民体育大会に三重県代表として吉田選手が出場し、健闘しました。新チームとなつた11月の東日本大会では二年生3名が団体戦で準優勝し、自信をつけました。決勝戦も惜敗であり、最後の東日本大会での優勝も目前であっただけに、うれしくもあり、くやしきもある結果でした。冬の新人戦では1年生が、東日本組に健闘し、塚本選手が吉田選手を破って優勝するなど、春に向けて層の厚さをますことができました。

このようにしてむかえた先月の県総体では個人2名、団体がインターハイ出場権を獲得しました。本年は出場だけが目標ではなく、結果が求められる年です。決勝トーナメントに進出し、入賞を目指し、もう一段も二段も夏までにレベルアップしたいと考えています。又、東海総体では初の総合優勝を目指したいと思えます。

高校バスケットボール部

・4年生4名 ・5年生8名
・6年生3名の少人数ですが、緊張感をもって自主的に稽古を行うことを心がけています。これからもより一層精進し、「一心」に心技体の向上に取り組みたいと思います。

私たちは、毎日放課後男女共に大会に向けて、一生懸命練習しています。平日は学校の体育館で練習することが多いのですが、休日は他校と練習試合をすることにより、自分たちの弱点を見つめたり、チームとしての動きを確認しています。普段の体育館の練習では、フットワークから始まり、基礎的な練習からゲーム形式の練習まで様々です。また、体育館が使えない日は、外周や神社へ走りに行ったり、筋力トレーニングをしています。神社では、かなり高く長い階段の登り下りもします。一番上まで登ると、足はもう疲れきっていて、何往復も登るとなると途中であきらめそうになったり、しんどすぎて倒れそうになることもあります。

高校体操部

みんなで助け合っていき、一つ一つ乗り越えていきたいです。そして何より、「バスケットボールが好き」という気持ちを忘れず、目標に向かって、頑張って練習していきたいと思っています。

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取組みも行っています。高度な技を練習するさい、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりません。選手たちには、その恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。その成果として、昨年度の三月に伊勢サンアリーナで開かれました全国選抜大会では、テレビ局も取材に訪れた中、選手権はものおじすることなく堂々とした演技を披露することができました。

高校ハンドボール部

躍が不可欠ですので、今後の伸びに期待をしています。最後になりますが、昨年度の選抜大会の時には新体操部OBの皆様の多大なご支援ありがとうございました。皆様のお力添えもありまして、無事大会の成功をおさめることができました。今後も皆様の心温かな応援をよろしく願っています。

男子12人、女子8人の新入生が入部し、現在ハンドボール部は、合計男子31名、女子17名で活動しています。昨年12月に行われた新人大会では、男子は1回戦三重高校に勝ちましたが、2回戦は四日市西高校に敗れました。女子は、1回戦四日市西高校に勝ちましたが、2回戦は四日市商業高校に敗れました。今年4月に行われた春季大会では、男子は川越高校に敗れ初戦敗退しました。女子は1回戦四日市高校に勝ちましたが、2回戦は暁高校に33対6で敗れました。しかし、全国レベルの強豪相手に6点をあげることもできました。

さて、本年度の主たる大会といえます。六月の東海高校総体、八月のインターハイがあります。個人競技では、本年度キャプテンの新家雄貴と副キャプテンの大桑雄太がインターハイ出場一人の枠をめぐるしのぎを削っています。お互いがライバル心を持ちそれぞれの課題を克服していけば、どちらが出場しても良い結果を期待することができそうです。さらに今年団体競技でのインターハイ出場を目指しています。そのためには、現在の二年生部員の活

先日行われた三重県高校総合体育大会では男子は、1回戦シードでしたが、前後半終了し12対12と同点だったため、延長戦を行いました。延長戦の結果、18対14で勝利を収め、念願のベスト8入りを果たしました。3回戦では強豪桑名工高校相手に善戦しましたが、敗れてしまいました。女子は、1回戦いなべ総合学園高校に敗れました。まだまだ、満足のいく成績は残せていませんが、3年生が引退し、1

正直なところ、神社だけでなく、体育館の練習でもしんどくて辛かったり、自分の思うようなプレーができなくて悩まされることもります。しかしそんな時は、みんなで声をかけ合い、盛り上げていくことによつて、やる気が出てきて頑張れます。声を出すことは特別なパワーを持っているのだと思います。そして、励まし合うチームの仲間は大事な存在だと感じます。

私たちは、これからも嫌な事やつらい事があるかもしれませんが、み

またまだ、満足のいく成績は残せていませんが、3年生が引退し、1

年2年主体のチームになり、チームとしての意気込みも高まっているところですが、今後1回でも多く勝てるように頑張っていきたいと思えます。

卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができましたから、是非、高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

高校吹奏楽部

吹奏楽部は、現在1年生から3年生まで、合わせて約70名で活動しています。5月29日に、中勢地区高等学校合同演奏会、第9回フレンドシップコンサート・イン・プラスも終わり、3年生は引退。1、2年生で、夏のコンクールに向けての練習です。今年の1月、3月にアンサンブルコンテストがあり、多くの部員が出演。3月のコンテストでは、サックス四重奏が金賞を受賞しました。

さて、今まで長い間部室として使ってきた第二体育館が、新築されることとなり、今春取り壊されました。来春には新しい校舎も建ち、吹奏楽部の部室も、今までと同じ場所に来、新たな気持ちで練習がスタートします。それまでは、講堂などで練習となりますが、部員一同一日一日を大切にして、練習していきたいと思えます。

仏言インターアクトクラブ

新入生部員十五名が入部し、全クラブ員三十五名で活動中。活動は本校の入学式・卒業式の準備宗祖親鸞聖人降誕会、花まつり、追甲会、報恩講をはじめ毎月の本山参詣の諸準備、仏具のおみがき。本山の諸行事のボランティア。一身田地区の七夕まつり、寺内町まつり、津市教育委員会主催の歴史まるごと体験塾のリーダーなど。

津北ロータリークラブの支援を受けて国際理解、奉仕活動に参加。韓国、アメリカへの交換留学生に選ばれ貴重な国際交流の体験を毎年させてもらっている。最近では、県高文祭のボランティア部門にも参加。本

山お七夜期間中の募金活動では、参詣の方々から温かいご協力とご寄附を頂いている。

白塚海岸のゴミ拾い、一身田駅、学校周辺の清掃を通して環境美化につとめている。一昨年より、津西ライオンズクラブ結成十周年記念事業として支援して頂き、一身田駅美化運動の一助のため四季の花壇作りを行っている。一助のため四季の花壇作りを行っている。花の管理や水やりも大変であるが、クラブ員は一生懸命である。駐輪も乱れているが、寺内町の玄関として本山に参拝して頂く人々にも心の癒しとなればと頑張っている。同駅のチャイルドラインセンターの諸事業などにも参加。

これら多様な福祉活動に対して、津市社会福祉協議会の福祉活動の補助と支援を受け、活動の充実と継続性がはかられている。地道な活動であるが、人と人とのふれ合いと助け合いの活動により、ボランティアの喜びを共感し、高校生として充実感と目標をつかんでいるようである。

高校演劇部

二〇〇四年度は、高田高校演劇部にとつて画期的な年となりました。八月の三重県大会(第四十九回)で最優秀賞(二校)に選ばれ、十二月

の中部大会(第五十七回)への出場を果たしました。本校にとつて三十九年ぶりです。

上演したのは、刀根奈津紀作『風媒花』という家庭劇で作者の生徒は県大会で創作脚本賞を受賞しました。県大会で上演したものをさらに練り直して、十二月二十四日、愛知県半田市の雁宿ホールで上演しました。キャストには卒業の近い三年生もおり、感無量であったと思います。

上演はその日の第六校目で、芝居が終わり、感無量であったと思えます。終わりが暮れていきましたが、世間のクリスマスイブをよそ目に、私たちは上演後の満足感にひたりながら、応援に来てくれた最近のOBたちを交えて夕食を共にしたのでした。

ところで、高田高校演劇部は、今回の中部大会出場を別にすると、過

去三度中部大会に出場していません。一九六一年(第十四回)の『漣』、六三年(第十六回)の『青梅』、六五年(第十八回)の『茜雲』、いずれも福島和代先生による顧問創作脚本での出場でありました。会報読者の中には、当時演劇部員だったOBOGの方々もいらっしやることと思いますが、いかがが過ぎでしょうか。

最後に、今年度、三重県の高田演劇大会は五十周年を迎えます。財政上の問題から大会会場は県文化会館から撤退しますが、年末には記念行事も予定しております。ついでながら書き添えさせていただきます。

(水野)

第55回三重県高等学校総合体育大会

平成17年 5月27日(金) ~ 5月29日(日)

クラブ	出場種目等	出場者氏名	成績	東海大会	全国大会
なぎなた	個人	吉田(6b)	1位		
		塚本(5b)	2位		
		米川(6b)	4位		
		小津(6c)	6位		
		中西(5b)	7位		
		塚本(5b)	3位		
		米川(6b)	4位		
	演技	小津(6c)	4位		
		吉田(6b)			
		吉田(6b)			
		塚本(5b)			
		小津(6c)			
団体	中西(5b)	1位			
	米川(6b)				
	小林(5e)				
	馬岡(5a)				
	瀨川(5e)	7位			
	番(3)	8位			
陸上競技部	男子 400MH				
	女子 円盤投げ				
バレー部(男子)			1回戦敗退		
バレー部(女子)			ベスト16		
ソフトテニス部(男子)	団体		ベスト16		
	ダブルス		ベスト32		
ソフトテニス部(女子)	団体		ベスト16		
	ダブルス	山中(2)・小西(6c)	ベスト32		
ハンドボール部(男子)			2回戦敗退		
ハンドボール部(女子)			1回戦敗退		
剣道部(男子)	団体		3位		
	個人	安藤(6c)・内山(C)	ベスト8		
剣道部(女子)	団体		3位		
	個人		3回戦敗退		
新体操	団体		1位		
	個人	新家(1)	1位		
		大桑(6d)	2位		
卓球(男子)	団体		4位		
卓球(女子)	個人	長尾(3)	4位		
馬術(東海大会)	団体		2位		
	個人	橋本(6e)	3位		
柔道	団体		1回戦敗退		
	個人(73kg級)	高橋(2)	ベスト16		
空手(男子)	個人	新井(3)	3位		
フェンシング(女子)	個人(フルレ)	秋田(1)	1位		
ボクシング(男子)	ライトフライ級	矢田(5d)	1位		

平成17年度 中学表彰者

クラブ名	成績
ソフトテニス部	野口杯ソフトテニス大会 学校対抗男子の部 第三位
	津支部春季ソフトテニス大会 中学生男子団体の部 優勝
	津支部春季ソフトテニス大会 中学生男子団体の部Bチーム・トナメト 準優勝
	津支部春季ソフトテニス大会 中学生男子個人の部 優勝 3d出口真人・3c真弓尚之組
剣道部	津支部春季ソフトテニス大会 中学生男子個人の部 三位 3c荒木孝輔・3c吉田篤史組
	津・安芸中学校春季総合体育大会 男子の部 優勝
	第21回鳳凰旗争奪 三重県中学校剣道優勝大会 優秀選手賞 3d川上宗馬
卓球部	第21回鳳凰旗争奪 三重県中学校剣道優勝大会 男子団体の部 敢闘賞
柔道部	津・安芸中学校春季総合体育大会 女子団体 三位
卓球部	津卓球選手権大会 中学女子の部 優勝 2e高藤江美子
柔道部	津・安芸中学校春季総合体育大会 中量級第二位 3a西田亮介

短大だより

一年ほど前の新聞を見ると、新卒求人は「超氷河期」という言葉が紙面を埋め尽くしていたが、本年一月の新聞では、「この地方だけの傾向かも知れないが、春めく東海景気：求職者に追い風」という見出しが大きく掲げられていて何年ぶりに明るい内容となっていました。

その新聞によると、東海地区の求人状況は好調な産業と、さらに地球博の開催、中部国際空港開港などビッグプロジェクトなどを控え企業では人手不足感を強く感じており求職・転職を希望する人にとつて絶好のチャンスが到来した。というものでした。

東海地域は日本のもの作りの中心地であること。自動車関連産業の大拠点であること。工作機械や精密機械などの分野でも著名な企業が多いこと。あまり社名が知られていないことも、世界的に高いシェアを持つていたり、その会社しかできない特有の技術を持っていたりする企業が少なくなく、愛・地球博の開催と中

部国際空港開港という二大プロジェクトが生み出す雇用は七万人に及ぶといわれている。というものであった。

三月以降、三重県の各地商工会議所が主催した就職セミナーも参加企業が県内企業が中心であるのか、参加者が例年に比べるとやや低調気味であるように感じました。ある就職ナビを主催している会社の方の話によると、愛知の大手の企業が新規学卒を本年度何人採用数がまだ決まていないので、それを待っている要素が強いので、学生の足が鈍っているのではないかと話してあった。そのようにリターンやエタールといわれる学生が三重県の就職戦線に加わらないことは、県内学生にとつては有利に作用する要素になる。

就職活動が始まり、短大生は高校を卒業して一年が過ぎようとしている段階であり、この一年間各種の実習や体験、インターシップなどを学習して万全の準備をしてきました。が、まだ実際の場面で、今まで学習してきた事柄を充分に発揮するにはやや困難なところがあり、それらの能力が就職活動に活かされているとは言えないのである。

本年度は新委員長の下、幼児教育・オフィス情報学科の先生方全員が学生の進路について真剣に考えサポートしていく体制を築き学生の活動を支援していきます。学生一人一人の個性が生かせる進路を見つけ、就かせるためこれからもきめ細やかな指導と工夫に努力を重ねていきます。

国際交流委員会

国際交流とは、民間レベルの国境を越えた相互理解に始まるといえるのでしようが、昨今の紛糾する世界情勢や近隣諸国の国家間の摩擦が、草の根的な活動の障壁となっている

ように思われます。高田高等学校国際交流教育委員会も十二年目を迎えました。地道な活動ではありますが、着実にその基盤は培われてきたように感じています。これも単に同窓会諸兄のお力添えがあつてこそと、日々感謝の念に耐えませぬ。

さて、一昨年東南アジアを震撼させたサイズによって、中止を余儀なくされた「シンガポール短期留学」も、昨年三回目の訪星を果たすことが出来ました。八月四日より六日間、四名の教員（伊藤哲哉、御手洗忠彦、岡本亮、南川寛子教諭）の引率のもと、中学2年、5年、高・高の生徒、計四十名が参加しました。ニール・ポリティク（義安理工学院）への学校訪問、マレー系のマドラス・ワクタジョン校での独立記念式典の列席に加え、三泊四日のイスラム家庭でのホームステイはかけがえのない貴重な経験となりました。この研修企画については、現地インターアクティブ・ボランティア団体のご協力を初めとして、同窓会員である山川氏、百五銀行川北氏のご尽力によるところ多大であり、



この場をお借りしお礼申し上げます。次第です。九月、シンガポール訪問団の労をねぎらううちにも、十一日には、第一十一回オーストラリア留学生ホームステイの受け入れが始まりました。九月二十二日までの十二日間、パレード校十九名、セントモ二カ十一名、引率教員五名が来日し、本山表敬訪問、授業や文化祭への参加など様々なプログラムに取り組みました。特に本年度は本山御影堂改修工事現場の見学を加えましたが、間近に見る

今年三月の、第十一回オーストラリア訪問は、生徒三十五名、引率教員七名（井ノ口良雄、岩出東紅、岡野英治、伊藤文貴、愛洲祐希、秋田郁、北川まき子教諭）が参加、新しく開港した中部国際空港、そして、「津新港なぎさ町」からの出発となりました。私儀ながら、五年前第六回の訪蒙メンバーとして参加した折以上に、オーストラリア両校の本校に対する理解と関心の深まりを感じ、手作りの交流が実りつつあると熱い思いに駆られました。

これらの交流活動以外にも、昨年度は、国際交流フェスティバル、スピーチコンテストへの応募や、三重県が主催する「国際貢献フェスタ」への協力など、多彩な交流活動を展開して参りました。

本年度も、「第四回シンガポール短期留学」（八月二十三日～二十九日）、第十二回オーストラリア留学生ホームステイ（九月十日～二十一日）、第十二回オーストラリア訪問（平成十八年三月二十六日～四月八日）が決定しており、さらに、七月八日にはインドネシア共和国の教育者二十四名の学校訪問を受け入れます。



国際交流活動を行ううちには、様々な方々のご支援、ご厚意の有り難さを深く感ぜずにはいられません。国際交流は、まず身近な方々の温もりの輪からであると実感しつつ、ますますのご助力をお願いする次第です。以下、本年度国際交流教育委員を記します。

（委員長） 岩出東紅、千草正道、辻井明子、宇河晴美、伊藤文貴、箕田昭子、南川寛子、川口裕美子、古林泰彦、伊藤哲哉、下村尚、大西正、山口慶子） 岩出

部会だより

北端 一子

先日、起震車に乗る機会がありました。避難訓練の一環として子どもたちと一緒に体験をしたのです。子どもたちは「ああ、おもしろかった」「ゆれて怖かった」という言葉だけですが、担当の方から「本来は子どもたちより親や家族の方が体験をして、どうすればいいのか、家の中は安全か、何の準備が必要か、子どもたちをどう避難させればよいかなどを考えるきっかけになって、安全意識を育てていきたいと考えている」ということでした。ただ、起震車に乗って「よくゆれて怖い」と感じるだけでなく、だからどうすればよいかを考え、いつも周りの大人(親や家族・保育士)が気をつけていかなければならない。今回、避難訓練の時に、園児の人数が合わず「子どもが足りない」と言って大捜しをしました。結局、その場に集合していたのですが、クラスの列に並んでいなかったの、分がなかったのです。本当の時は、もっとパニックになるだろうと思うと心配になってきます。繰り返し訓練をすることによって、子どもたちも我々保育士も、あわてず対応出来る心を育てていきたいです。

さて、短大部会の活動ですが、5月に役員会を開きました。毎年恒例になっている高短祭でのバザーの収益金が少し増えてきたので、どうしようかということ。今年も収益金は、各年度で開く同窓会の通信費に当てさせていただきませう。ぜひぜひ連絡をください。もっとも収益金を増やして、別の事業に投資をしようかと話がありました。まだまだ未知数ですが、皆様の協力をお願いします。役員・理事の皆様だけでなく広く会員の皆様のご協力をお願いしてバザーの収益金を増やしましよ

う。よろしくお願ひします。

高田短大が、少しずつ変わろうとしています。育児文化研究センターが立ち上がり、幼児教育学科は、変わり「幼児教育コース」、子ども福祉コースを持つなど学科の誕生となりました。より専門知識を得て、ますます大きく地域に根ざしていく高田短大を同窓生として応援しようではありませんか期待しております。

学苑トピックス

数学オリンピックギリシャ大会 銀メダル4年d組 片岡 俊基

去年の七月、ギリシャで行われた国際数学オリンピックへ行ってきました。国際数学オリンピックは、一九五九年に始まり、日本も一九九〇年から参加しています。世界中から数学好きの高校生たちが集まり、交流を深めます。

今回泊まったところはアテナにあるホテルの十八階でした。窓から外を見る白い建物が見えていて、ギリシャといえばそれを思い出します。気温は四十四度と高かったです。乾燥しているためのどは湯きますが、暑くは感じませんでした。

今回の日程は余裕があり、到着の二日後に開会式が行われました。順に各国の選手が前に出て行って挨拶するのですが、日本チームはおもちゃの刀でチャンバラの劇を演じました。これは、あとで外国のチームと話をするきっかけになりました。

開会式の次の日から二日は試験です。試験はどちらも四時間半で三問を解き、計算力はなく、じっくりと考える力が試されます。四時間半は一見長いように思えますが、問題に集中しているとすぐに終わってしまいます。私は一日目も二日目も二問ずつ解けたつもりになっていましたが、一問ミスをしてしまい、結果

は銀メダルでした。

試験の後は観光です。パルテノン神殿などを見てきました。国内の観光とは違い、日本とまったく違う気候、まったく違う自然の中にあるので、飽きることなく楽しめました。

また、観光以外でも選手同士の交流があります。英語はそんなに得意というわけではないのですが、それなりに交流できました。一緒にトランプをしたり、持ってきた国のお土産を交換したりします。特に、ジャグリングボールを持ってきた選手とバツィング(二人でボールを交換しつつジャグリングをする)したことが印象に残っています。

今年も無事に国内の選抜を通過しメキシコ大会へ行くことが決まりました。今年も金メダルを目標に頑張りたいと思います。また、今年も多くの人と交流をしてきたいです。

テレビ東京系列TVチャンピオン

美ししこ中高校生 優勝 4年d組 中尾友美

今回私がTVチャンピオンに出場することになったのは、中学3年生の時に漢字検定「準1級」を取得し、漢字検定協会から番組への推薦があったからでした。最初はTV番組へ出場することなど不安もあり迷っていましたが、先生方の励ましや、家族・友達の高い応援もあり、思い切って出場することにしました。

不安を抱えながらの出場でしたが、今回のこの経験は、私にとって大変素晴らしいものとなりました。まず、一緒に出場した選手の人達には、自分の意見を言葉にして表現することに大変意欲的で、私はとても刺激を受けました。自分もこのまま負けていられないと思ひ、番組の中で私自身もどんどん積極的に発言するように努力しました。また、「最後まで諦めずに努力する大切さ」を改

めて実感しました。最後まで諦めるなどは今までに何度も教わりました。今回の経験を通過して本場に身にしみました。レベルの高い選手達の中で、自分の表現力の未熟さや知識の少なさを感ひ、何度もうけそうになりましたが、絶対に諦めなかつたことで、今までの努力が報われたと思うからです。

このように今回の貴重な経験から学んだことは、その場限りにしてしまふのではなく、これからも様々な場面で生かしていけたら良いと思っています。

最後になりますが、私自身を支えて下さった多くの皆さんに、心から感謝したいと思います。

会員だより

昭和二十八年三月卒業 中学クラス会(報告)

谷 洋明

去る平成十七年二月五日(土)午後五時、プラザ洞津で開催された。今回は三ヶ月前に開催を予告した。幹事は四時、名札、席番を整えて参加者を待った。懐かしい顔が一人ひとり集まり始めた。予定者は三十八名であったが風邪のため二名が欠席となった。定刻には全員到着、会場に入る前に一同で記念写真を撮った。予め幹事で進行、開会の挨拶、スナップ写真、閉会の言葉等の係りをきめ、乾杯の首領は最初に到着した人をお願いした。会場は円卓テーブルで三つの島を作り、バイキングに設定した。各テーブル毎、隣同士で積もる話が弾み、酔いがまわると島から島へ渡り次々に和やかな笑いが溢れ、賑わいが広まった。遙かに隔った時間は瞬く間に飛び去り、五十年前その儘が



そこであった。殆どの人は社会の線から身を引き、趣味、日常生活、家族等に話題が及んだ。幹事の写真係に混じってカメラを手に、同級生達の姿を撮るつもりとする人、あつちで肩組み、こつちで寄り合つてカメラに収まった。昔、三年間を共に学んだ者たちの集まりは、こんなにも濃い話、重い内容にみだされるものか。この儘いつまでもこの時が続けば良い、ここで幕を引くには余りにも辛かったが時間の都合でやむなく中絶めしなればならず続きは二次会に委ねることとした。二時間半は瞬間に過ぎた。会場から徒歩五分の酒場に場所を移して二次会は始まった。二十一名は所狭しと再び集合、カラオケの先生と自認する人を皮切りに、昔の唄、新しい歌が飛び出した。会場からの続き話をする人もあり、こもまた、賑やかに盛り上がった。五十年前の言葉で、当時の中学生気質に戻り、

三時間を過ぎた。名残は尽きず、タクシーで帰る者、プラザ洞津を宿にする者、次の再会を願って互いの帰路についた。

これ程まで、中学時代のクラス会には、時を超えて心を繋ぎ、若返らせ生きる力を与えるものか。若い時を共に学んだ事実は、何者にも勝る宝をこんなにも残すものかと驚かされたクラス会であった。次回また相見たいと改めて強く思った。

(幹事) 米川あさ子・中村直子・濱口幸雄・若菜義彦・谷 洋明

■鴨の群れる浦

大森 克美(桂 歌)

(昭和二十六年高卒)

昨秋新しい自転車を購入し健康志向をかねて乗っている。

日常の買物もさることながら所用品の中心までも延長し快適に銀輪を走らせている日々が続いている。

家郷に冬が訪れ暖冬が寒に入ると一変し北風が笛のように鳴り寒気が身を切るように体に刺さる。

伊勢の海の支流の浦はゆりかもめや鴨の群が撒いたように濃紺の冬浪の起伏にゆれていて壮大な景色を展開している。

鴨の県下有数の飛来地であることを新聞で知りその思いを確かなものとしたのである。

鴨群るる熱き心をひそめ観る

桂 歌

消されたる如く鴨居す浦ぬくし

鴨の陣かもふくよかに禁猟区

我が影に触れ翔つ鴨のびよと鳴く

私の少年の頃の鴨はもつと小ぶりだった記憶がしていま冬浪にゆれ浮かぶ鴨の群れは肥えていて首に緑のリボンを巻いた鴨の姿も混じり風格がある。

私の青春の日の作で特選となった、撃たれ鴨見し淋しさに歩を移す

桂 歌

といった光景は見られない禁猟区となつたからであるうか。

その昔浦に住む俳人で村収入役のT氏宅の句会を思い出す。

亡父と共に橋本鶏二師を囲んでの句会は当時の浦で盛会であった。

私が高校二年から三年への冬での夜の句会で、海苔車ゆききの路地の暮れなずむ桂歌次々と俳誌に入選し奔流のように句作に埋没して行ったのを回想する。

冬浪の立ちて破るる虚空かな

鶏二

海苔拾つことを法度のおきて書き

その夜の師の吟行作を鮮烈に記憶している。

その夜から五十年余の暦日が流れて、なお俳句を作り続け現職の頃職場誌や組合の文化活動に寄与し三度も受賞に上京したのも昨日のように思い出されるのである。

時代は変せんし生活の変化や外国の海苔に押し海苔産業が衰退し海はさだれつ、四季を重ねているのが現実の姿であるうか。

実作を何十年も重ねていると必ず壁が身に立ちほだかる。

その場合私は美意識や生活感覚や社会性や写実を実作の金の斧にこめて前方の大石の壁に向かつて斧をふるい打ち破る努力の集積しが新生面は拓けないと思つた。

在りし日の星野立子の言葉に、私の俳句は病んでいる人々や人生に悩んでいる人々の励ましや一助になれば良いと

もう一つ私の心を打つ言葉に、苦んで苦しんで句を作る楽しんで楽しんで句を作る

その昔俳誌玉藻の後記で読んだ立子の言葉であった。

M浦の荒涼とした大寒の浦はびつしりと鴨の群れで埋まり灰色の空をゆりかもめが乱舞し真冬の情景を人々の耳目に刻み冬の日は色濃く移るい始める。

鴨に眼を向けて護岸に佇つ私も春を待つ心切なる思いが心に拡がるのであった。

春立つ日がもうすぐ訪れる。

追記 昭和二十六年高卒の級友へ告ぐ。総会での再会を

■「湯の山」31年卒

中学卒同窓会

工藤 正英

(昭和三十一年中卒)

我々は、1954(昭和31)年に中学校を卒業し、現在64、5歳、同窓会(同期会)を隔年で開催している。

卒業生102名のうち、連絡可能82名、うち出席20名(内、女性6名)日帰りを含む。

今回は、2005年5月29日、30日、湯の山温泉「希望荘」で開催。特別ゲストとして、田中和磨先生を招待した。先生は80歳になるうとするのに、たいへんお元気で、我々が励まされた。

物故者(2003年より1名死亡)に黙祷、乾杯、宴席に、いつも会っている人もいれば、数十年ぶりの再会の人もいる。

温泉で裸の付き合ひも楽しかった。宴席及び2次会(カラオケ)の様子はどこでも同様だろつから省略する。

全体の会は終了し翌朝解散したが、有志9名で、御在所へ登った。ロープウェイから見る雄大な景色に長らく忘れていた「感激」を取り戻した。

遊歩道を約1時間歩く。緑が美しい。

この機会に、湯の山温泉の現状について感想を一言。

「希望荘」とあとごく少数の旅館のみ「繁盛」。企業努力が不足していると思われる。

ロープウェイから廃業し、幽霊屋敷のような大小の旅館がみえる。醜態でしかない。

温泉街入り口の駐車場はあまりきれいでない。

平日(月曜日)のせいかロープウェイ乗り場は閑散としていた。しかし駐車料金は取る。

二人でロープウェイに乗ると、駐車料金を含め4、700円ほどかかる。「こつしても行きたい」という気にはならない。

休日と平日とか季節節によつて料金思い切りやすくすべきだ。

先日終了した昼ドラ「湯けむりウォーズ」はここ湯の山温泉で収録された。

ロケは今も閉まっている施設を使つたらしい。ひっそりと道端にたたずんでいる。

これも観光の要素になるのに、宣伝の気配なし。

ドラマでも少し出てきたようだが、温泉街の奥のほうには三岳寺や大石公園がある。また、滝もあるようだ。

三重県の誇りである湯の山温泉の発展を願つて・・・



■事務局だより■

平成17年5月より高田学苑樹心同窓会のホームページを学苑ホームページのトップに追加させていただきました。連絡先の変更等はホームページの変更フォームからお知らせください。また、今後同窓会会報についても掲載をさせていただきますのでよろしくお願いたします。その他、何かご意見等ございましたら左記メールアドレスへご連絡ください。

ホームページ:
http://www.mie-takada-hi.ed.jp/ Eメール:
justin@mie-takada-hi.ed.jp

個人情報 収集した個人情報については適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報の保護に努めてまいります。原則として第三者への提供や開示などはいたしません。

樹心会報 年齢60歳以上の方は「会報」と「はがき」をお送りします。年齢60歳以下の方は「はがき」にホームページアドレスを記入してお送りしますので、ぜひ開いて見てください。

尚、来年度より、61歳以上の方は「会報」と「はがき」をお送りしますが、60歳以下の方はお知らせの「はがき」も送付しませんので、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

開校130周年記念誌としてその歩みを「学校法人高田学苑開校記念誌」として平成十四年十月三十一日刊行することができました。「希望の方はお申し込みください。」書籍小包の中に振込用紙を同封いたします。郵便局で二千円を振り込んでください。